

政策対話（産業労働部）の概要

1 テーマ

女性起業家支援

2 実施概要

(1) 日 時

令和4年8月3日（水）18時から20時

(2) 場 所（実施手法）

シソーラス株式会社（長野市鶴賀権堂町2312-1）（ZOOMによるオンライン開催併用）

(3) 参加者

37名（起業前後の女性 ※オンライン視聴者含む）

県側：林産業労働部長、滝沢経営・創業支援課長、経営・創業支援課職員、信州スタートアップステーション コーディネーター

3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方
女性が起業をするにあたって必要な支援（お金、仲間、情報等）とは何か。	<ul style="list-style-type: none">・ 女性は、事業を行うにあたって孤独になりがちであるため、女性同士で気軽に相談・情報交換できるコミュニティが必要。・ 専業主婦が新たな事業を始めようとしても、ビジネス的な勘（経済面や精神面）が戻らず、また、相談できるつながりも少ない。・ 女性起業家が気軽に相談、利用できる窓口やプログラムが必要であり、そこでは、想いに共感してもらったり、ビジネスアイデアのブラッシュアップ（マネタイズ方法等）をしてほしい。・ 女性の利用者が多い情報媒体（SNS等）を用いた支援施策の周知が必要。	<p>【コミュニティ作りについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 信州スタートアップステーションを中心に、女性起業家同士が出会えるコミュニティ作りを進めてまいります。 <p>【女性が利用しやすい窓口やプログラムについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 女性が気軽に利用できるような支援体制やプログラムのあり方を検討し、今後実施してまいります。 <p>【情報発信について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 女性に対して効果的に発信できる情報媒体を検討し、速やかに情報発信に取り組んでまいります。